

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和8年7月16日

施設名	高知県立弓道場	所管課	スポーツ課
-----	---------	-----	-------

1 施設の概要

指定管理者名	公益財団法人高知県スポーツ振興財団	指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日
施設所在地	高知市高埴12番1号		
事業内容	1 施設の運営に関する業務 2 施設の利用促進及び利用許可に関する事 3 利用料金の収受に関する業務 4 窓口業務に関する業務 5 施設及び設備の維持管理に関する業務 6 スポーツ振興事業等に関する事 7 その他施設の設置目的達成以外に必要と知事が認める業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 1 面積 敷地面積:4,959.64㎡ 建築面積:1,630㎡ 射場本体面積:1,460㎡ 2 構造 弓道場本体:鉄筋コンクリート造2階建 矢取廊下及び的場:鉄筋造1階建 3 駐車場 15台収容 4 施設、設備 近的射場:12人立、256㎡ 遠的射場:6人立、134㎡ (1階)巻藁コーナー:6台、審判席・役員席、控え場、観客席・矢取廊下、更衣室 (2階)会議室(大:92.8㎡、中:64.8㎡、小:15.9㎡) 5 利用時間 8:30～21:00(受付時間:20:00まで) 6 休館日 12月29日～1月3日 7 主な料金 【団体利用】 近的射場:10,310円 ※一般利用者(団体利用)が全日(8:30～21:00)使用した場合 遠的射場:6,170円 ※一般利用者(団体利用)が全日(8:30～21:00)使用した場合 【個人利用】 近的射場:330円 ※一般利用者(個人利用)が全日(8:30～21:00)使用した場合 遠的射場:330円 ※一般利用者(個人利用)が全日(8:30～21:00)使用した場合		
職員体制	常勤職員:5人 非常勤職員:0人 合計:5人 職員数は令和8年4月1日現在		

2 収支の状況

単位:千円

		令和6年度(決算)	令和7年度(決算)	令和8年度(予算)
収入	県支出金	16,850	19,816	23,156
	使用料・手数料	3,954	4,866	3,255
	その他	1,978	2,604	943
	収入計 (a)	22,782	27,286	27,354
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	10,477	11,526	11,761
	人件費	14,138	17,825	17,495
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	24,615	29,351	29,256
収支差額 (a)－(b)		-1,833	-2,065	-1,902

3 利用状況

	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	令和8年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	31,279	42,175	45,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 1 意見箱の設置(常設) ・弓道場事務所前に意見箱を設置 ・回答数:1件(11月) 2 スポーツ教室・文化教室参加者へのアンケート ・無料体験教室(弓道無料体験教室(3回)、夏休み小学生弓道無料体験教室(1回)) 計 114名参加 ・回答数:91名(件) ・スポーツ、文化教室(弓道教室1～3期(入門・初級・中級)、フィットネス教室1～3期(月・火・水・金曜実施)、お正月飾り寄せ植え教室(1回)) 計 373名参加 ・回答数:153名(件) 3 団体代表者などとの意見交換 ・利用者の意向や意見を把握する為、弓道連盟、高体連、中体連等に対して、年1～2回(6月・3月等)聞き取りを行っている。 ・公有建築物の長期展望と共に団体の要望を吸い上げ、優先度を整理したうえで、段階的かつ計画的な整備方針を策定していく。 (調査結果) ・意見箱を設置しているが、直接、職員に意見をいただくことも多い。 ・意見箱に投函があった場合は、回答を館内にて公開している。 ・スポーツ教室は3～4期に分けて実施しているが、年間を通して参加する方が多い。アンケートを実施し、参加者から高い評価をいただいている。 ・意見やアンケート結果は職員間で回覧するとともに、対策について定例会で検討を行っている。また、スポーツ教室の講師や財団本部を通じてスポーツ課に共有している。		

②利用者意見等の反映	○ 利用者意見等を踏まえた対策 ・簡易な修繕や清掃等の改善については随時対応し、利用者が安心して施設を使用できる環境づくりに努めている。 【駐車場不足について】 ・大会や講習会の開催時の駐車場不足が大きな課題となっている。近隣企業の協力により土日においては26台分をお借りして対応しているが、依然として不足している状況である。引き続き、主催者に事前に駐車場が不足することや大型バスによる来館が困難であることについて事前に説明を行う。 【施設の課題について】 ・遠的防矢ネットの新設などについて県と連携し、対策を検討している。今後、工事の際は、施設の利用を制限することが想定されることから利用者にも周知を図る必要がある。また、選手の控え場所について空調設備がなく、夏季の熱中症対策が課題となっており、引き続き対策を検討する。
	○ その他 ・全国でも例を見ない、滑りやすい床面であるとの意見が多かった場内の改修工事が令和8年2月に完了し、利用者から高い評価を受けている。 ・弓道教室卒業生から寄せられた要望を踏まえ、弓道人口の増加を図るため、夜の弓道教室を計画 実施した。
	③その他特記事項

4 年度業務評価

項 目		状 況 説 明
①適正な管理運営の確保		・法令、事業計画書、協定書(仕様書)等の内容を遵守し、適正な管理運営を行った。 ・日常的な職員の点検等により、修繕が必要な箇所を早急に把握し、対応することで、利用者が安全かつ快適に利用できるよう努めている。 ・事故発生記録簿の記載、回覧、原因や対応方法の検討、協議などにより、改善を行っている。事故等の対応手順は事務室に掲示し、常に適切な対応ができるようにしている。
②利用者サービスの維持向上		・従来の掲示板の活用に加えて、デジタルサイネージを活用し利用者に最新の行事予定の提供に努めている。 ・状況に応じて職員がスポット清掃を実施する等、施設的美観を保っている。 ・意見箱の設置、スポーツ教室及び文化教室参加者アンケート等により、利用者や関係団体からの意見聴取を行い、軽易な事項は改善し、検討を要するものは協議・調整を行い、利用者の声を反映するよう努めている。
③利用実績		・令和6年度利用者実績:31,279人 ・令和7年度利用者実績:42,175人(対前年度増減率 34.8%)
④収支の状況		【収入(管理代行料除く)】 ・令和6年度:5,932千円 ・令和7年度:7,470千円(対前年度増減率 25.9%) 【支出】 ・令和6年度:24,615千円 ・令和7年度:29,351千円(対前年度増減率 19.2%)
総合評価		・自主事業について、弓道無料体験教室、弓道教室(入門・初級・中級)や夏休み小学生弓道体験教室を実施している。また、会議室を使用したスポーツ教室(ヨガ・ピラティス)や文化教室を増設する等、空き施設の活用に積極的に取り組んでいる。 ・武道の競技人口は減少傾向にあるが、今後も弓道無料体験教室や弓道教室を開催し、弓道経験者の競技再開の後押しや競技人口の増加につながる取組を期待する。 ※利用者及び収入の増加について、個人利用の増加や物価高騰に対応した利用料金の見直し、大会時の控え射場の取扱いの見直しが利用者及び収入の主な増加要因と考えられる。
	B	

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの